

令和3年7月9日
リーダー八田 崇史

令和3年6月度活動報告
令和3年6月26日(土)(第277回目)

参加者6名

コロナウイルス宣言が6月20日で解除されたので、今月は従来通りクラブハウスで開催することにした。

◆1時間目 次世代の Windows11について 1:25~1:45 20分

6月25日に Microsoft から秋に発売される Windows11 の発表があったのでその概略の説明が S 氏よりされた。

Windows11 は、デザインやシステムを一新するなど、これまでにない大型アップデートなので、単なる Windows10 の改良でなく、新たな Windows である「11」を名乗る事になった。

Windows11 の登場時期は2021年内とされているが、Windows10 のユーザーには無償でのアップグレードが可能。但し、Windows10 ならどのパソコンでも可能ではなく、機能強化によるパソコン仕様で最小の要件を満たしていることが条件となる。この要件は今後発表で明らかになる。

11では

・デスクトップの新デザイン

新 UI(ユーザーインターフェース)やアイコンを採用して、スタートボタン等がセンタリングで左端から中央付近になった。これにより、ライブタイルが無くなりアイコン構成も変更され、スタートメニューやアプリウインドウが角丸になりフォルダーが色区分で印象的になった。

・スナップ機能強化

ウインドウを整列させるスナップ機能が強化されて見易い画面になっている。

・ゲーム機能の強化

Android アプリが実行可能になった。

説明後の感想

Windows11 に代わる概略説明を聞いて、Microsoft はユーザーに嘘をついたと思った。

Microsoft が Windows10 を発表した時に、今後は Win7・Win8 / Win8.1・Win10 の様な型式変更は今後やらない。仕様変更は Windows10 の大型変更を春・秋の年2回実施して対応をする、Windows10 が最後でこれからはすべて、バージョンアップは大型更新です。と言っていたのはうそかと思った。また、Windows10 ユーザーには無償アップグレードにしているが、これも多分ウソと思う。何故ならいろんな機能強化でパソコンの仕様が高いスペックになるのでその要件になっていないパソコンは11の機能を使えない事になるので結局新規に購入が必要になるのではないかと思った。

◆2時間目 新講座11回講座の3回目 1:40~2:30 50分

今月のテーマ「OneDrive のファイルを自動でバックアップ」

日経パソコン 2021.2.8

P42~45 4枚

パソコンは故障等でファイルが突然消えてしまう可能性がある。通常の使用では、新規ファイルの作成や修正・追記更新をした場合の保存バックアップは、別のストレージへは手動でのコピー保存操作が必要になる。

クラウドの OneDrive には、「ドキュメント」「デスクトップ」「ピクチャー」という重要なファイルが、保存されるフォルダーに自動保存される設定があるので、同期によってクラウドに自動保存が出来る。

削除したファイルは OneDrive 専用のごみ箱が用意されており、パソコン側にあるごみ箱とは別のもので、連動しない仕組みになっていると資料にかかっている。しかし、私の OneDrive には独自の

ごみ箱はない。OneDrive のファイルを削除すると、パソコンデスクトップ上のごみ箱に入っており、元に戻すと OneDrive 上に復元表示されている。

❖ 主要なフォルダーの内容をバックアップ

OneDrive のバックアップの設定は、タスクバーの右にある OneDrive のアイコンを右クリック→「ヘルプと設定」→「設定」→「バックアップ」のタブをクリック→「バックアップの管理」ボタンをクリックする。

すると、「デスクトップ」「ドキュメント」「写真とピクチャー」の3つが並ぶ画面が表示される。バックアップしたいフォルダーにチェックを付けて→「バックアップの開始」を押すとアップロードが始まる。

この設定により OneDrive フォルダー内に、「ドキュメント」等のフォルダーが作成され、この設定以降はここが標準の保存先になる。

OneDrive フォルダー内なので、パソコン側でファイルやフォルダーを更新すると、同期されているのでその内容がクラウド側に反映される。

❖ OneDrive のバックアップ設定を解除する

「クラウドの容量(5GB)が不足してきたので、バックアップ設定を解除したい設定」

タスクバー内の右側にある OneDrive のアイコンをクリックしてメニューを表示して、「ヘルプと設定」→「設定」→開いた画面で「バックアップ」タブを表示して→「バックアップ管理」の3つフォルダーの下にある「バックアップ停止」をクリックして→開いた画面で「バックアップの停止」をクリックする。

但し、それまで保存していたフォルダーやファイルは元のまま残っているので、クラウド側の空き容量を増やしたい時は、手動で削除の操作をする事。

❖ USB メモリー内の写真を自動バックアップ

パソコンに接続した USB メモリー等にある写真や動画を、自動でクラウドに保存することが出来る。

この設定の操作方法

タスクバー内の OneDrive の設定画面を開き→「バックアップ」タブの中の

□カメラ、電話等のデバイスを PC に接続するたびに、写真とビデオを OneDrive に自動保存にチェック✓を入れて、OK を押す。

これでスマホや USB メモリーを接続した時の操作選択で、「写真と動画のインポート」を選べる。

これにより、パソコンの OneDrive フォルダー内に、「カメラのインポート」フォルダーがつけられて、画像や動画が個のフォルダーに保存され、クラウドに自動アップロードされる。

❖ キーを押すだけでキャプチャー画像を自動保存

パソコン画面に表示している内容を保存した画像は、「キャプチャー画像」や「スクリーンショット」と呼んでいる。

このキャプチャー画像を自動でクラウドに保存する設定

パソコンのタスクトレイ内の OneDrive 画面を開き→「バックアップ」タブの中の、□作成したスクリーンショットを OneDrive に保存するに、✓チェックをつける。

キャプチャー画像を作る方法で一般的なのは、「Print Screen」キーを押した後、クリップボードにコピーされた画像を「ペイント」に貼り付け手順だが、上記の✓チェックを入れる自動保存の設定をすると、パソコンに表示している画面を「Print Screen」キーを押すだけで、OneDrive 画像フォルダー内に

ある「スクリーンショット」フォルダーに、画像ファイルとして保存される。当然クラウド側にも自動保存される。

◆スマホの写真を自動でアップロード

スマホの OneDrive アプリでは、スマホのカメラで撮影した写真を、OneDrive に自動保存する機能があるので便利。

設定方法

スマホの OneDrive のアプリを開いて、画面右下の「自分」をタップしてメニューを開いて→「設定」タップする→開いた画面で「カメラのアップロード」をタップしてオンにする。

以上でスマホに保存している写真や、設定後に撮影した写真が、OneDrive の「カメラロール」フォルダー内にアップロードされている。

◆3時間目 Windows 機能活用11回講座の 1・2・3回講座 2:30～3:00 30分 1回目講座 「パソコン起動直後にアプリを自動的に開く」

資料 PC21 特別付録 P16 1枚

パソコンを起動すると同時に、アプリ(例で Outlook)が自動的に開く設定をしておけば手間が省けて便利。

設定手順

- ① Outlook のショートカットをデスクトップに置く。
- ② スタートボタンを右クリック→「ファイル名を指定して実行」をクリック。
- ③ と入力して→ OK をクリック。
- ④ するとスタートアップフォルダーが開くので、①のショートカットアイコンをドラッグ & ドロップでスタートアップフォルダーに移動させる。
- ⑤ PC を再起動させて、登録アプリが立ち上がるのを確認する。

以上の操作をしたが、パソコン再起動後に Outlook は開かなかった。

2回目講座 「表示倍率が気に入らなかったら、画面表示を改良して使いやすく」

資料 PC21 特別付録 P18 1枚

せっかく4K のディスプレイなのに表示領域が狭いと感じたり、文字やアイコンが小さく見づらかったりの場合、表示倍率を変更や解像度を確認しよう。

表示倍率 画面のメニューから拡大と文字サイズを変更する。

出来れば に変更する。

解像度 設定→システム→ディスプレイへと進み、ディスプレイ解像度で△Vを押して、最大の解像度(推奨)を選択する。(そのパソコンの型番で推奨解像度は決まっている)

3回目講座 「通知領域に必要なアイコンだけ表示する」

資料 PC21 特別付録 P19 1枚

タスクバーの右側に表示されているアイコンで、多く並べると見にくく煩わしいので、よく使うものだけタスクバー内に表示し、それ以外は隠しておこう。隠したアイコンはタスクトレイ内の「∧」を押すと確認できる。

タスクバーの通知領域内のアイコンの表示設定手順

設定→個人用設定→タスクバー→通知領域の「タスクバーに表示するアイコンを選択します」からオンオフで切り替えをする。

◆4時間目 パソコン全般 3:00～4:00 60分

1. スマホのアカウントが乗っ取られて使えなくなった体験話

宅急便の SMS での連絡で、スマートフォンのパスワードが更新されてロックがかかり設定の更新が出来なくなった。新しい第2世代の SE を買い設定が未だうまくできない経過話をする。

2. マイクロソフトのアカウント取得について

Microsoft アカウントを取得したが、画面を見ると古いアカウント表示になっているが何故かという話で、これはローカルアカウントになっているのではないかと。

正しいアカウントの登録取得は、「account.microsoft.com」にアクセスして行う事。

どの画面からか忘れてたが、5月2日に新しく Microsoft アカウントを取得した。しかしアカウント情報を確認すると、ユーザ情報では新しいアカウントになっているが、青色表示の「Microsoft アカウントの管理」をクリックすると、廃止した古いアカウントで表示されている。訳が分からなくてマイクロソフトに確認する必要がある。

3. 4月から使用を開始したメーリングリストについて

メーリングリストによる送受信があるが、内容をよく知らない人もいるので話をしてみた。

メーリングリストは、グループ内で情報交換する電子メールの利用法の1つで、参加者全員を特定のメールアドレスに登録することにより、メールを登録者全員に送付するシステム。

メーリングリストから配信されたメールで返信すると、メーリングリストに投稿されるようになっている。普通のメールと同じように、メーリングリストの返信ボタンを押して送信する。この返信は登録者全員に送信される。

メールアドレス管理者として、S 氏を代表者として「メーリングリストアドレス新規登録者登録」で登録をした。

登録した人にはメーリングリストで配信しているので、送信アドレスに表示の「ejk-pc.....@.....com」を連絡先(アドレス帳)に登録してください。

—以上—